

ここでしか見られない貴重な史料がたくさん！

ようこそ、 「つなぐ技術」の歴史探検へ



NTT 技術史料館

<http://www.hct.ecl.ntt.co.jp>

一般公開中！

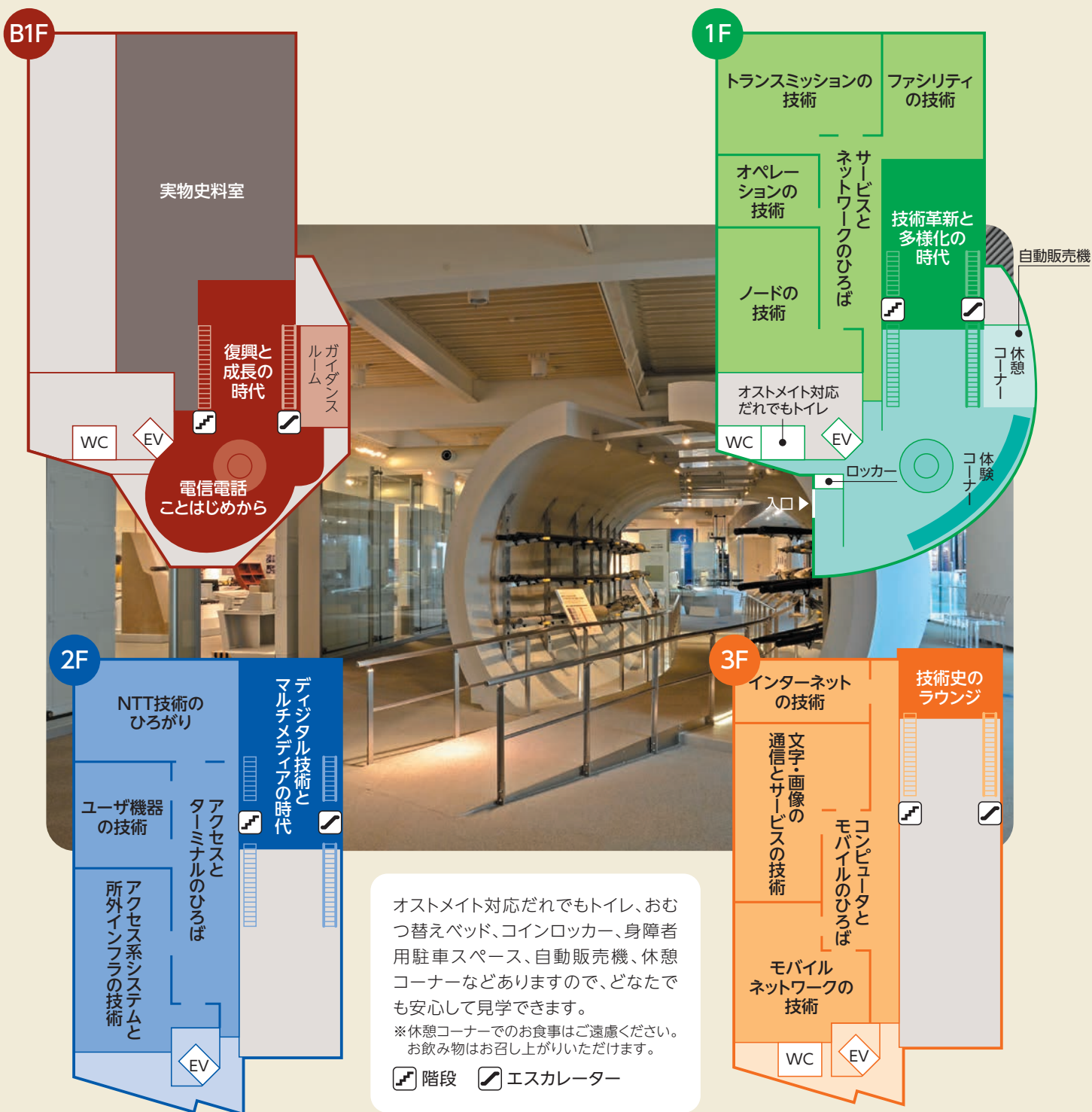
毎週木・金曜日 13:00～17:00 (予約不要・入場無料)

国産1号電話機や昭和の懐かしい黒電話機、長さ2,000kmの光ファイバになる高純度のファイバ用ガラス母材など様々な史料をご覧いただけます。また映画にでてくるようなレトロな電話機の通話体験などもできます。

※ガイドツアーおよび上記日程以外のご見学をご希望の方は、ご予約が必要となります。

※都合により休館する場合がございますので、事前に当館ホームページでご確認いただくかお問い合わせください。

「歴史をたどる」「技術をさぐる」の2つのテーマで NTTグループの歴史的資産を展示しています。



展示解説用タブレット(日・英対応) 無料貸出サービス

当館では、来館されたお客様に展示物を楽しみながらご覧いただけるよう、展示解説用タブレットの館内無料貸出サービスをおこなっています。





昔の電話を体験してみよう

通話するために電話交換手が必要だった時代の電話体験ができます。



戦後の混乱期から東京オリンピックの開催まで約20年。めざましい日本の復興・成長を支えた電信電話の風景を、当時のテレビ映像で振り返るコーナーを設けました。

歴史 をたどる

明治2年の電報事業開始から今日までのNTTグループの通信事業の歴史を社会の動きとともに年代順にご紹介します。



歴史の壁画
(幕末から明治、大正、昭和初期までの歴史を紹介)

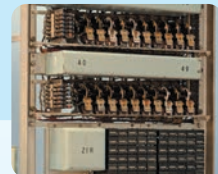
B1F

電信電話ことはじめから

1854年に来航したペリーによって日本にもたらされた電信機。1876年にベルが電話機を発明すると日本でも国産化に着手し、1890年には初の電話交換サービスが始まります。以降、1952年に日本電信電話公社が発足するまでの電気通信事業の歴史を紹介しています。



ベル電話機をもとに製作した「国産1号電話機」



最初の国産交換技術として戦時下に登場した「T形自動交換機」

技術 をさぐる

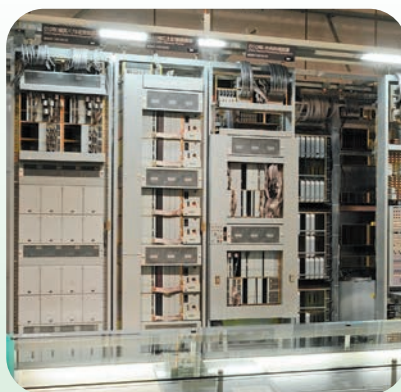
電気通信を支える様々な技術の発展を分野ごとにご紹介します。

1F

サービスとネットワークのひろば

- ノードの技術
- オペレーションの技術
- トランスミッションの技術

ネットワークを支える基盤技術の機器を展示します。ネットワーク、交換、有線と無線の伝送、オペレーション、建築と電力など、さまざまな分野の技術の歩みを紹介します。



D10電子交換機



通信用鉄塔



海底中継器

暮らしへ社会へ、世界へと広がった NTTの情報通信技術

明治2年の電報事業の開始から、逓信省、電気通信省、日本電信電話公社、そして民営化後のNTTグループへと、日本の電気通信事業は形を大きく変えながら発展を遂げてきました。日本の通信技術の歴史は、NTTグループの技術開発の歴史とも言えます。

NTT技術史料館では、日本の通信技術のルーツから、日本電信電話公社発足以来の半世紀を中心として、NTTグループが開発してきた電気通信技術を展望できる、数多くの貴重な史料を展示しています。それぞれの時代に生み出された数々の技術をご覧いただき、独自の技術開発にかけてきたNTTグループの創意と努力を知っていただくことで、次世代の更に厳しい技術開発競争に挑む人々の糧となれば幸いです。



実物や模型などを使い、その時代の状況をリアルに再現した展示ブース



1950年～60年代に使われた電話機。右から(古い順に)、4号電話機、600形電話機、プッシュホン

B1F 1850～ 復興と 成長の時代

逓信省、電気通信省と官営で行われてきた電気通信事業が1952年、日本電信電話公社に引き継がれたときの日本は、戦後復興の最中にありました。経済活動の活発化とともに暮らしを支える技術として次々と実用化が進んだ、電気通信サービスの歴史を紹介しています。



大阪万博に登場した未来の電話「ワイヤレステレホン」

2F アクセスと ターミナルのひろば

- アクセス系システムと
所外インフラの技術
- ユーザ機器の技術
- NTT技術のひろがり

お客さまとNTTを結ぶアクセス網、ケーブルとそれを導く所外インフラ、お客さまが利用する電話機やファクシミリ、光ファイバ製造方式の基礎を築いた“VAD法”をはじめとするNTTの基礎・基盤研究成果など、技術の進化の歴史をさぐります。



通信ケーブルを通すマンホール(模型)



管路を掘削するための機械



光ファイバ製造技術(VAD法)の開発



「パラボラアンテナ」 離れていても会話 ができる

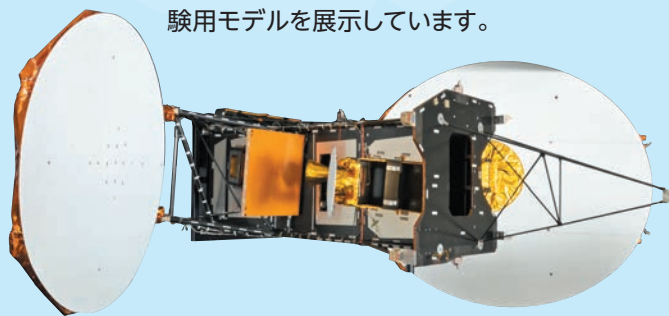


1Fと3Fにある
パラボラアンテナ
同士で、会話
することができます。

3F

技術史のラウンジ

吹き抜けを見おろし、展示空間を一望できる3F「技術史のラウンジ」には、技術試験衛星ETS-VIのアンテナの実験用モデルを展示しています。



1F

1970～ 技術革新と 多様化の時代

1970年代から1980年代半ばにかけての日本は、高度成長期から成熟期を迎えた時代。電気通信事業は、交換機の電子化が進んだほか、ポケットベルや自動車電話サービスなど、今日のモバイル時代へとつながる新しい技術が登場し、劇的な進化を遂げました。



初期のポケットベル



ミニファクス



モバイルネットワークとインターネット

2F

1980年代半ば～ デジタル技術と マルチメディアの 時代

1985年、公社民営化により日本電信電話株式会社が発足。この時期よりネットワークのデジタル化、通信網の光化、モバイルネットワークとインターネットの普及が急速に進み、個人と個人が高度なネットワークでつながることのできる時代へと発展しました。



阪神淡路大震災と衛星回線用
ポータブル地球局

3F

コンピュータと モバイルのひろば

- 文字・画像の通信とサービスの技術
- モバイルネットワークの世界
- インターネットの技術

電報やテレックス、テレビ電話など、文字と画像を扱う技術はコンピュータの登場により大きく変貌を遂げました。そこから始まった新しい技術の動きを紹介します。



ネットワークで使うコンピュータ (DIPS)



電報の中継機と道具類



多種多様なモバイル機器



タイムトラベラーD

史料館内をまわって通信のヒミツを探すクイズラリーです。

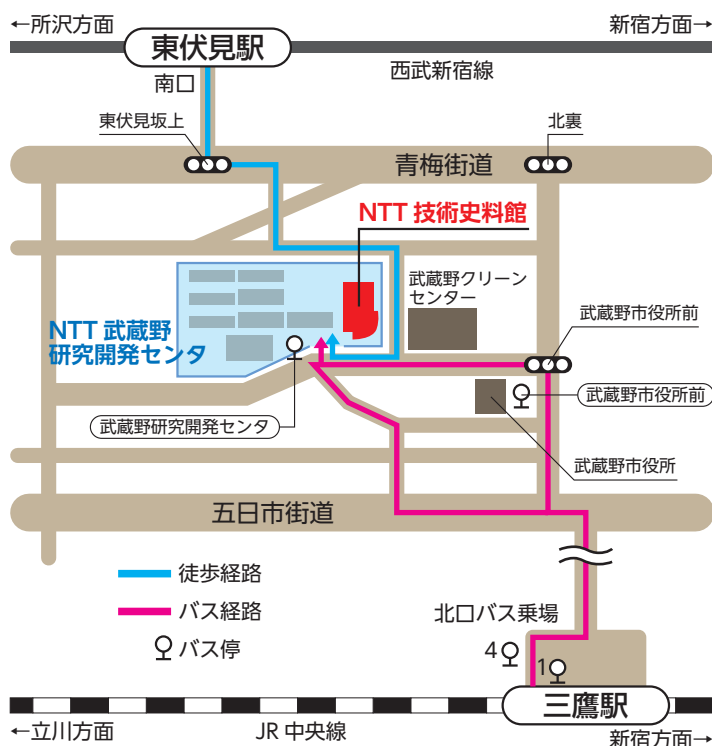


オリジナル ペーパークラフトプレゼント

来館記念にプレゼントしている、NTT技術史料館でしか手に入らないとってもレアなペーパークラフトです。何がもらえるかは来館してからのお楽しみ。



交通



JR 中央線「三鷹駅」 北口よりバス

- 1番バス乗り場から「北裏」か「武蔵関」か「田無橋場」行に乗車
「武蔵野市役所前」にて下車、徒歩5分
(所要時間約15分)
- 4番バス乗り場から「NTT武蔵野研究開発センタ」行に乗車
「NTT武蔵野研究開発センタ(終点)」にて下車
(所要時間約10分)

西武新宿線「東伏見駅」 南口より徒歩15分

NTT技術史料館

〒180-8585 東京都武蔵野市緑町 3-9-11 NTT 武蔵野研究開発センタ内

お問い合わせ先

NTT 情報ネットワーク総合研究所 企画部 広報担当
TEL.0422-59-3311
<http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/contact/index.html>

